

- ・小児アレルギー患者のアドヒアランス評価指標の開発・確立を試みている。
- ・アドヒアランスの客観的評価と、アドヒアランス不良の要因が判断できるツールの開発により、的確な患者指導が可能になると考えられ、指導の方法の提示により非専門医にとって大変役立つ有意義な研究である。
- ・高校生がぜん息のコントロールが悪いと言われているが、このような高校生に、AS-ercaを使用したアドヒアランスの評価を実施したらどのような結果が出るのか興味深い。
- ・53の候補質問から6つの項目を選んだ点は評価出来る。
- ・AS-ERCAの作成と検証は今後の発展が期待できる。
- ・喘息のように長期の管理を要する疾患では患者のアドヒアランスの改善は重要な課題である。前回アドヒアランスの指標として各種の検査項目との関係を調べたが、今回はアドヒアランスに関わる因子を喘息児の心理的・社会的な面から検討したもので、アドヒアランスの指標を多角的に解明しようとすることは意義のある調査研究である。今回、傾向スコアを用いた統計解析でアドヒアランスを評価する指標として複数の項目が選択されたが、これ等の検討内容や結果を第一線の臨床医が理解しやすいように呈示して欲しい。そして、これ等の研究結果を活用した場合に、アドヒアランスの改善にどの程度役立つのかを検証する必要がある。
- ・アドヒアランスとAS-ercaが関連することはわかったが、これをどのように予防・予後の改善に生かしていくのが問題である。
- ・アドヒアランス不良と症状悪化、アドヒアランス良好と症状良好はこれで把握できるが、逆にアドヒアランス不良と症状良好、アドヒアランス良好と症状悪化について種々の検討が必要と思われる。

・コントロールが不良であってもアドヒアランスが悪い患者が問題であって、その様な患者のアドヒアランスを的確に掴み、アドヒアランスの向上に資するというのが事業の目的ではなかろうか。その方向で少し検討されたら如何であろう。

・種々の機会でその成果が口頭発表されているが、国際雑誌への情報発信が望まれる。